

事務局：(財)奈良県緑化推進協会内

〒630-8301 奈良市高畑町 1116-6

TEL 0742-24-0200 FAX 0742-24-2110

メールアドレス: gvnc@nifty.com

ホームページ: <http://homepage2.nifty.com/gvnc>

●主な活動の記録 (7月～9月)

7月6日(土) "ぬるべの郷"下草刈り 曾爾村塩井

うるしの再生による村おこしをされている同地で、うるし植栽地の下草刈り作業を実施されるにあたり、助っ人の派遣要請を受け7名が参加。現場は山の中腹で日当たりのよい一画だが、うるしにとっては多少酷な所か、生育状態はもう一つに反し、雑草は勢いよく繁茂していた。同地区総代、うるしを守る会会長の挨拶並びに作業内容の説明を受け、この後地元の参加者十数名に混じって林道と植栽地の草刈り作業を午前中に行った。同地で、この秋に研修会の開催を予定しており、これの日取り、内容等につき午後関係者と打合せ。実施日を11月16日(土)～17日(日)とし、県下は無論、ミニ紀伊半島三県交流会と位置付け和歌山・三重県各地のボランティアの参加を呼び掛ける予定。(現在別途チラシを配布し、参加者募集中)



顔合せ



草刈り作業風景



うるし掻きあと

7月13日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

朝から非常に蒸し暑い中、30数名が参加。午前中は、みんなの森の作業道と自然観察路一Bとに分かれての草刈り作業で汗を流した。午後、15日の県主催の"山の日・川の日" "山と森林の月間"各関連イベントに協賛して開催する木エクラフト指導用の材料の準備、木炭の小袋詰め及び午前中の作業の一部残りの仕上げを行った。終礼のあと、緑の募金他本年度の各種助成事業の決定通知を受け、当クラブと奈良県森林ボランティア連絡協議会との合同理事会を開催。各事業の内容並びに日程につき話し合った。助成事業名は下記の通り。

<当クラブ>

- ・親子自然観察会—セブンイレブン記念財団
- ・荒廃したふるさとの森林を地域の森林ボランティア団体と連携して再生する—緑の募金
- ・高校生等に対する林業経営・就業体験等事業—全国林業研究グループ連絡協議会

<奈良県森林ボランティア連絡協議会>

- ・森林の整備と連携して行う普及啓発活動—緑の募金特定公募事業
- ・ぬるべの郷(曾爾村)—村おこし支援—緑と水の森林ファンド

尚、定例活動400回を記念しての懇親会を8月11日(日)に開催決定。

7月15日(月) 森林体験 山もり・てんこ森 県野外活動センター

森林月間"山の日・川の日"にちなんで県主催のイベントが同センターで開催され、当クラブよりは木エクラフト指導として11名が参加。生憎朝から激しい雨に見舞われたためか参加者の出足が鈍かったが、昼をはさんで多くの子

供達がひっきりなしに訪れ、竹笛とジージーゼミづくりを楽しんだ。一度で鳴らない竹を何度かやり直し、ようやく鳴った時の子供の笑顔は最高！

7月18日(木) 森林環境教育とクラフト指導 富雄南バンビーホーム

奈良市地球温暖化対策地域協議会が主催する環境出前講座の一貫として、同ホーム(学童保育所)からの要請を受け、クラブ員6名が指導に当たった。生徒の数は110名超と多く、二教室に分かれ、台紙に絵を描きこれに合わせた押し葉を貼り付け、最後にラミネート加工し仕上げる一方、片方の教室では種飛ばし一風によって種を運んでもらう植物の種を模してのクラフトづくりを行った。森林環境教育として、森林の役割・大切さを皆に考えてもらい発表してもらった、この間8名の同所職員にも手伝ってもらい、何とか時間内に予定を終了した。

7月21日(日) “潤いの森” 日笠町 下草刈り

瀬戸内オリーブ基金で一昨年に同町の茶畑跡地で実施した植栽地で10名が下草刈りを実施。場所が場所だけに、日当たりが非常によく、その分雑草が勢いよくはびこっており、下草刈り機で切り開き木々の周りを手鎌で刈り取った。支柱に結び付けていた杉紐が木の成長と共に食い込んで中折れ状態になっているものが散見され、これを一つ一つ切り離した。午後は近くの里山の植栽地で、傾斜がきついため手鎌だけの坪刈りを行った。別途3名は山主の城森宅裏庭に間伐材を利用して作った物置小屋の屋根のペンキ塗り、この間、庭木の剪定を手伝った。

7月27日(土) “親子自然観察会と木工クラフト” 矢田山遊びの森

「山と森林の月間」協賛イベントとして実施。一般の子供とその保護者40数名とクラブ員30数名が参加。冒頭、理事長より沢山の参加への謝辞並びにイベントの趣旨説明の後、二班に分かれ、それぞれ森林インストラクターと補助がついてAコースをゆっくり時間をかけて説明を聞きながら散策。途中メダカ池で水分補給のため小休止して、屋前に子ども交流館に戻った。中には植物図鑑を片手に実物を確かめながら熱心に説明を聞いている少女もいた。午後は木工クラフトとして、竹笛とジージーゼミをクラブ員の指導を受けながら作り、早速吹いたり、振り回して音を楽しんでいた。最後にアンケートに記入後、昨年来サナギから育てたカブトムシをおみやげに手渡し解散。なおこの間、クラブ員の一部は午前中“野鳥の森”植栽地での下草刈り、午後はクラフトの手伝い並びに料理体験館で使うための木炭の小袋詰めを行った。



観察中



メダカ池で小休止



ジージーゼミで遊ぶ



記念写真

8月7日(水) 環境出前講座 六条バンビーホーム

奈良市地球温暖化対策地域協議会からの要請で、学童保育六条バンビーホームで児童92名と職員7名が参加のクラブ員5名の指導のもと開催。クラブとスタッフ紹介の後、森林環境教育“森の役割”を考え、紙芝居“おじいさんの木”を見てクラフト体験を実施。クラフトは下絵を描いた画用紙並びに葉に各種の押し葉を配しラミネート加工するもの。皆は楽しんで作品づくりに取り組み仕上がったものを各自自慢気に見せ合っていた。

8月10日(土) “竹切り作業体験と木工クラフト” 矢田山遊びの森

「山と森林の月間」協賛イベント、林研助成事業の一環として開催。今夏最高の暑さといわれる中、親子連れ 25 名とクラブ員 27 名が参加し開催。イベントの趣旨説明の後、まほろば展望台近くの竹林へのハイキング。子供達にとっては厚い中、少々きつかったようだが、指導員による自然観察を兼ねながら、所々で給水のための休憩をとり 40 分程かけ現場に到着。人工林への竹の侵入状況、作業要領の説明、そしてこの日県から借り受けたチップパーによる竹の粉碎作業を見学してから、子供一人一人にクラブ員が指導員としてつき、説明を受けながら竹切り作業を体験。切った竹をチップパーまで運び、粉碎してもらった。作業終了後再度歩いて料理体験館へ。下り坂でもあり皆元気よく歩いたので予定より早めに着き昼食。午後からは、竹を使ってのジージーゼミと竹笛を作りそれで遊んでいた。アンケートに記入してもらって解散。皆は一様に満足した模様。



粉碎作業見学



竹切り作業体験



竹笛製作中

8 月 11 日(日) 定例活動 400 回突破記念の集い ホテル日航奈良屋上

27 名が集い、夜風に吹かれて、暑さと日頃の疲れはどこへやら、活動の回を重ねたことを祝しながら、約 2 時間に亘りクラブ員相互の懇親を深めた。日月理事が所蔵の貴重な資料である平成 9 年 7 月 12 日第 1 回森づくりボランティア活動スケジュール表写が配布され花を添えた。

楽しい時間は瞬く間に過ぎ、最後に鈴木理事長よりこの日を迎えられるのも、第一回から継続して活動に参加され、本日も出席の創立者の一人である石野顧問をはじめ八木氏、日月理事のご尽力があつてのものにて、これに対し謝意が表され、皆がまた元気に揃って 500 回目を迎えられることを祈念し、最後は一本締めでお開きとなった。

8 月 17 日(土) 森の学校 二上山ふるさと公園

中部農林振興事務所主催で開校され、当クラブ員 4 名がクラフト指導と自然観察会を行った。参加者はまず用意されたパネルを参考に森林クイズに挑戦、ほとんどが満点。この後、竹を使ったジージーゼミと笛づくりに取り組み、出来上がると直ぐに鳴らして遊んでいた。またリョウブの輪切りを使ってのプレートマットづくりも楽しんだ。この間希望者 10 数名が自然観察会で展望台近くまでの遊歩道を往復し、押し葉を配した手作りの記念の葉をもらっていた。終了まで約 120 名の親子連れが参加した。

8 月 22 日～23 日 近畿ブロック林研コンクール 津市

毎年、畿内各府県持ち回りで開催される本コンクール、今年は当番の三重県津市で開催され、各地から 90 数名が参集。当県からは安田林研会長はじめ 11 名が参加。大阪を除く各府県から一団体が日頃の活動・研究の成果を発表。当県からは当クラブ岡本理事が「次代に繋ぐ緑の輪」と題し報告。結果は兵庫県加美林業研究グループが優勝し、来年 2 月に東京での全国大会に出場される。翌 23 日は、式年遷宮で賑わう伊勢神宮の”神宮の森”を神宮司庁営林部職員の案内で見学後、輝きもまぶしいぐらいの新しいお社を参拝し解散。

8 月 24 日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

雨にもかかわらず、17 名が参集。予定を変更し、道具類の整備、クラフト材料づくりとどんぐりプロジェクトの苗の移植—酷暑にめげず大きくなり竹のポットが窮屈になってきたため—みんなの森の苗畑の除草して畝をつくり地植え

した。午後は、情報館を借り林研コンクールの報告を兼ねて PC でのプレゼンテーションを再現。雨が強まる懸念があり早めの解散となった。

* 植替えの様子は、どんぐりプロジェクト全国事務局 HP にも、コメント付きでアップされました。

どんぐり成長レポート・2013 年 7 月-9 月(写真省略)

植え替えたよ！(森づくり奈良クラブ)

酷暑に負けずに元気に育ってくれたため、ポットが窮屈になり、丁度雨の合間に 100 本ほどを苗畑に植替え(地植え)しました。更に大きく育ちますように！

事務局より ご報告ありがとうございます。今年は奈良県でも厳しい暑さだったのではないのでしょうか？これで一段落だといいですね。100 本もの苗木が元気に育っているということで、とても心強いです！これからもよろしくお祈りします。

8 月 27 日(火) 環境出前講座 鼓阪北バンビーホーム

参加者児童 16 名、教職員 3 名に対し、当方より 3 名が出向き実施。メンバー並びにクラブ紹介に続き、森林環境教育として森の大切な役割につき、児童に問いかけたところ、次々と活発に手をあげ答えを出してくれ、ほぼ網羅してくれた。次いで紙芝居”おじいさんの木”を上演後、メインであるクラフトに取り掛った。まず台紙に絵を描き、押し葉を思い思いに乗せ、上からラミネート加工でカバーして出来上り。葉は予め準備しておいた学童保育所名と日付けの入った台紙に葉っぱを乗せ加工した。最後に種飛ばし遊び。折込広告の紙を切り取り、折り目をつけ飛ばすと恰も植物の種が飛んでいるよう。今回は人数が少なくかつ時間に余裕があったため、ゆっくり丁寧に出来、子供達も満足した模様。

9 月 14 日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

FV 連による「緑の募金」公募事業”森林整備と連携して行う普及啓発事業”の 25 年度スタートにあたり 30 名ほどが参加。事業目的を説明後活動地へ。3 班に分かれての作業内容をそれぞれ細かく説明し、また作業にあたっては、ひとり一人が気配りし、注意をしながら進めるよう指示。

1・2 班は、谷川を渡る木橋を架ける。(間伐材を使って)

3 班は、谷川の整備。(倒木・枯れ木等の撤去)

皆が声を出し合い進めるなか、背中にはミルミル汗まみれになった。昼食をはさみ引き続きの作業。2 時過ぎに予定していた作業を無事終了。協力いただいた他ボランティアの皆さん有難うございました。



谷川の整備



木橋を架ける



渡り初め

9 月 28 日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

お彼岸が過ぎてもお暑い中、25 名が参加。午前中は前回に続き、FV 連「緑の募金」公募事業の活動に参加。作業道整備のための草刈り、竹並びに枯損木の処理を二ヶ所に分かれ実施。午後はセブンイレブン記念財団助成事業としての、自然観察路の整備を A・C コースで行った。昼食時、年度末決算内容に関し理事会を持った。